

学校プロフィール

鈴鹿市立桜島小学校

記述項目	記述内容			
1 目指す学校像	児童が今日も来てよかった，明日も来たいと思える学校			
6 学校経営の基本方針について	<p>「わかる授業，楽しい授業を創造し，児童一人一人が意欲的に学習に取り組む学校づくりに努める。</p> <p>児童一人一人がお互いの「ちがひ」や「あるがまま」を認め合い，明るく生き生きと生活する人権文化あふれる学校づくりに努める。</p> <p>家庭訪問や話し合いなど保護者との連携を密にし，真に子どもに寄り添う指導を通して，保護者に信頼される学校づくりに努める。</p> <p>地域教材での学習，地域の人たちとの交流，地域学習ボランティア制度の導入など，地域に開かれた学校づくりに努める。</p>			
2 「価値」を提供する相手方について 相手方の区分	児童	保護者	地域	
現在の要求・期待	<ul style="list-style-type: none"> わかる授業 楽しい学校 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上 規律ある学校 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校 	
要求・期待の将来変化	<ul style="list-style-type: none"> 考え合う授業 力を合わせる学校 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に応じたきめ細やかな指導 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と一体となった学校 	
3 学校を取り巻く環境変化について	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍児童の増加 家庭における教育力の低下 旧地区と新興住宅地が混在する地域住民の希薄な関係 大型店やコンビニに出入りする子どもたちの金銭感覚の低下 			
4 教職員の人材育成について	<ul style="list-style-type: none"> 研修を中心として，考え合う授業づくりの指導力の向上が必要である。 子どもへの根気強いかわりの姿勢の強化が必要である。 保護者へのきめ細やかな対応により，信頼関係を高める。 地域の人との交流や連携を大切にする姿勢の強化が必要である。 			
5 パートナーについて 主要なパートナー	保護者	地域住民	学童保育	中学校区
パートナーとの関係の将来変化	学校の教育方針を理解し合い共育者の関係	学校の教育方針を理解し合い共育者の関係	児童の様子についての情報交換	児童の教育についての連携
7 その他情報 児童生徒数 教職員数	<p>平成19年5月1日(火)現在</p> <p>全児童数 752名(外国籍児童55名，障害児学級在籍児童13名)</p> <p>54名(実学級数27，教員数36名)</p>			